

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
1	経済観光課	グリーンツーリズムの現状は。	6月から3名体制で新規33軒開拓をして、合計登録家庭50軒を確保。修学旅行生徒受け入れ200名が可能な100軒を目指し推進中。
2	経済観光課	グリーンツーリズム、山村留学についてはよくわからない。受け入れ家庭が少ないのではないかと。	
3	経済観光課	空き家が多く、もっと活用できないかと。	民間空き家を13戸行政が借り上げ、補助金を活用し修繕を行い貸し出しているが、制度は今後は増やす計画はない。建設課で空き家状況調査を実施。空き家バンクとして登録する制度なども考えられる。
4	経済観光課	北部観光開発について、市は力を入れているみたいだが、具体的な方策が見えてこない。	観光パンフレット等にも北部観光として紹介。今後、国上校区等とも協議をしながら観光スポットの整備や体験メニューの開発に力を入れて北部観光のPRに努めていく。
5	経済観光課	鴨女町の住宅跡地の駐車場使用料金は月2,000円の料金を徴収している。しかし、天神町・労働金庫前の市民駐車場は、周辺に勤務する従業員が利用する場合、無料で駐車している。料金を徴収するべきではないかと。	この駐車場は広く一般の市民が無料で使用するための行政財産。常駐しないよう看板も平成24年度に立て、商工会や近隣の店舗にも常駐しないよう指導していることを確認。
6	経済観光課	島元気郷事業の精査はしたのか。	32世帯70名が定住し、効果は上がっていると評価している。今後についても、慎重な議論をする。
7	健康保険課	女性特有の子宮頸がんや乳がん検診があるが、ぜひ卵巣がん検診を要望したい。	卵巣がんについても、検査時間に長くかかるので、集団検診になじまないが、予防重視の観点から対応できる検診機関及び実施方法について調査・検討するよう要請。
8	健康保険課	国保財政健全化の為に、通院や、薬の見直し等必要ではないかと。西之表の医療費は県下何番目なのか。	ジェネリック医薬品の利用促進や、緊急を要しない時間外、休日診療の抑制等、広報啓発に努めている。医療費の状況は県内43市町村中、高い方から32番目、19市中では18番目。
9	健康保険課	国保事業の財政赤字にこれからどう対応するか。国保財政への法定外繰り入れについての不公平を、どう思っているのか。法律違反ではないかと。議員は制度の勉強をして欲しい。	国保は仕組みの問題があり、低所得、自営業、年金生活者の構成になる。議会の活動としては、国の補助制度の充実を求める事。予防活動の推進を今後も提案していきたい。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
10	健康保険課	国保は2億円の赤字財政が続くのではないか。その場合の保険税の値上げが心配だ。この問題にどのように対応するのか回答して欲しい。	平成24年度医療費は2.77%減少したが、国・県等の補助負担率の改善が具体的に示されない状況では、自力での運営は困難と考える。今後さらに予防事業運営に積極的に取り組んでいきたい。
11	健康保険課	国保税について。世帯主であるが高額の国保税については、医療費を使わなかった場合、何らかの還元ができないものか。	過去に粗品提供もあった。しかし、国保制度は相互扶助の精神から生まれた制度で、医療費を使わなかった時期があったとしても、還元する資金として考えるのではなく、予防事業の健全化を図るために、長期的に負担を増やさない事業を展開していく。
12	健康保険課	女性特有の健診は、女性のスタッフを配置してほしい。	基本的に医師以外、女性スタッフを配置している。
13	健康保険課	国保財政については、予防事業の充実が大事だと思う。ピロリ菌の除菌は、予防効果があると思います。ぜひ取り組んで欲しい。また、健康診断の健診率の向上を呼び掛ける事が大事だ。	ピロリ菌については、胃や十二指腸潰瘍の経験のある方や、消化性潰瘍と診断された方、胃の具合が悪い方など、国民健康保険で検査を受けられるので、かかりつけ医に相談していただきたい。
14	健康保険課	温泉行き事業が当初老人クラブ主導だったが、現在は民生委員や部落長主導となっているため、参加者も少ないところがある。議会は把握しているのか。もっと老人クラブの会員も減少しているので力を入れてもらいたい。	介護保険事業で取り組んでおり、老人クラブへの勧誘等、地元主導を目指している。地域のつながりを深めていただくことも大きな目的としているため、なお一層の声掛けをお願いしていきたい。
15	健康保険課	在宅介護への奉仕活動の参加と、お願いしたい時の方法など知りたい。また、市の取り組みについて知りたい。	介護手当支給事業、紙おむつ支給事業、介護者のつどいの開催等実施しており、今後、ボランティアによる生活支援体制の構築を図っていく。
16	健康保険課	介護保険料が高いので少しでも安くなるように検討してほしい。	高齢者自らが、自身の健康づくりや介護予防に対する意識を高め、元気な高齢者が増加するよう心掛けていただきたい。
17	建設課	平山の工事は、無駄な道路工事だったと思う。難航した工事だ。工法などは、どの様に検証されたか。空港線につながるまでには、相当な費用と時間がかかると思う。	地滑りに伴い法面のボーリング調査を行い、工法検討の結果、法枠及びアンカー工法で施工している。今後3期工事として、平成30年から35年、約6,000万円、完成までには約10年と予想している。
18	建設課	3, 4軒からの生活用水が道路脇に流れ出ているところがある。公民館につながる傾斜のある道路で、どのような対応があるのか。	法定外道路(里道)と思われるが、市道であっても側溝のない不具合箇所や市道の流末未整備箇所もあり、優先順位により施工している。今後、生活道路も含めた形で検討していきたい。議会としても現地確認したい。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
19	建設課	若宮団地では階段下の蛍光灯やチャイムも壊れているが、報告してもすぐに改善してくれない。	住宅管理維持には日々努めている。指摘事項については早急の対応を求めている。
20	建設課	県道や市道でもないが生活道路となっている集落内道路に側溝もないために、住宅建設もできていない。このような道路の整備をしてもらいたい。	下西地区は地籍調査が行われていない。土地の所有者が不明な道路についても、陳情書を議会に提出していただきたい。壅泊で市道に格上げして舗装を行ったケースもある。
21	建設課	下西小学校前につながる道路は通学道でもあるが、アスファルトが古く、側溝も壊れており、相当の交通量もあり、路面には窪地もできている。雨の時には相当量の水も出る。	側溝・ガードレール・アスファルトの現況調査は実施済。水対策については、工事費が大きいので今後検討。議会としては、できることは速やかに対応するよう要望する。また、集落内の維持補修費の予算額が縮小してきている。
22	建設課	野木からの市道には水たまりができる。水道課の職員が通過した際にも申し出ているが何も対策ができていない。このような状況を議会はどのように把握しているのか。	以前調査を行い、直営の維持補修でできる所を計画的に対応しているが、緊急性の高い箇所から優先しているため、補修に至っていない。地元からの要望への対処を迅速に行うよう議会として要望していくが、併せて地元からも議会への陳情か請願として依頼していただきたい。
23	建設課	川脇川は昔から水の多い時期は氾濫する。県にも伝えているが改善されない。調査をして欲しい。	現地調査を県にお願いしたが、まず場所の特定を行いたい。
24	建設課	鴨女町市営住宅の、建て替え問題は怎么样了。	鴨女町の市営住宅入居者71戸。検討委員会を設置。後期振興計画の中で実施予定。
25	建設課	城～小牧野～竹鶴の道路補修（ガードレール・砂利道）を長いこと要望している。	要望のあった竹鶴のガードレールは、今年度設置し直している。その要望箇所については現地調査を行いたい。
26	建設課	平成24年度に請願・陳情を提出して議会で採決された。いつごろ予算が組まれて道路整備されるのか。	今年度一部(約50m程度)をオーバーレイで補修する予定であったが、集落長と協議した結果、路盤から施工する舗装事業で長期振興計画H26年度以降に計画をした。
27	市民生活課	ゴミの不法投棄が顕著。条例を作るだけでなく、普段からその実効性をしっかり改善してもらいたい。	土地所有者が処理すべきとなっている。しかし、投棄者が判明した際には、犯罪行為として、より厳しい対応をすべきと要請。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
28	市民生活課	ゴミステーションの現在の場所では、高齢者に負担が大きいですが、新たな増設については集落内の話し合いで対応できないと回答されている。	議会として高齢者への負担軽減の必要性は議論してきたが、ゴミステーションの増設については、集落で話し合い、計画的な数を含め検討をしていただきたい。
29	市民生活課	今年は西風が強く海岸にごみが増えている行政にも伝えたが動かない。議員も実情を知り、奉仕作業への参加も考えたらどうか。	台風の影響。海岸は県の管轄であるが、予算不足で市も協力してボランティアで美浜や住吉は対応した。地元の協力もお願いしたい。
30	市民生活課	合併浄化槽を設置したいが道路占有許可が必要などのため、実施できない場所がある。	個別対応が必要なので、まずは担当課に相談してほしい。
31	市民生活課	汚泥再生処理センターから出ている堆肥を、他地域の人も利用可能か。	平成27年度稼働予定で建替える。現在では地元還元の対応となっているが、要望事項についても併せて検討する。
32	市民生活課	転勤者の多くが住民票を移していないと聞いている。把握はしているか。	把握できていない。住民票を移していないという情報は、聞いている。住民登録をしていただくよう広報していきたい。
33	水道課	水道の引き込み管の件で、市に要望したいので現地調査をして欲しい。	本管からの引き込みは市で行うが、引き込み内は個人の財産であることから、引き込み費用については個人負担となる。現地調査は行いたい。
34	水道課	水道料金の値上げ、8.09%の負担は大きい。	料金改定協議会の答申では、料金改定率15.12%が出され、市民全体に公平となる負担になる改定をせざるを得ないものであったが、経営状況、料金改定の考え方、経営上の取り組み状況、今後の料金改定見通しについて議論し、8.09%の料金改定をせざるを得ないと判断した。
35	水道課	水道料金の値上げについて、どう議論されたか。	
36	水道課	水道料金値上げは決まったが、水圧が低いことは改善されていない。	水圧の問題については、加圧ポンプを設置するか、貯水池を高台に移設する必要があることから、多額の予算を必要とするため、今後検討していく。水圧は、水道施設との位置関係によって決まっていくため、高台地区での給水申請については、水圧が低めであることを承諾していただいている。議会は、このままでは不公平と考える。市民の公平性からも、現状把握、また料金の差別化等、議会として今後検討。
37	水道課	水道代、値上げについては圧力等の問題、よろしく申し上げます。ご苦勞様でした。	

平成25年10月24日

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
38	水道課	自宅で介護をしているが、水の使用量が非常に多い。料金の値上げは、非常に厳しい。	現状は原価を割っている状況で、単年度の赤字を解消するためにも、「値上げは やむを得ない」と判断した。一般家庭での平均10 t 使用の場合で236円の値上げとなる。
39	農林水産課	第1次産業の発展に、力を入れて欲しい。若い人達の雇用や、商店街の活性化にもつながる事をもっと真剣に考えてほしい。	活性化は最重要課題の1つと考える。グリーンツーリズムの受け入れ民家の増加による修学旅行生徒の受け入れなど、交流人口を増やす取り組みを行っている。
40	農林水産課	市場経営について聞きたい。地元の野菜が減り、よその野菜が多い。野菜の値段や魚価等、議員は認識しているか。	平成24年度の野菜の取り扱い実績では、昨年の95%と減少したが、島内産対旅荷の割合は、島内産が2.7%上昇している。
41	農林水産課	東側と違って西側に灌漑施設が整備されていない。過去に整備する計画があったものの地元として推進しなかった。今年の日照りがひどいので、いずれ灌漑施設の整備が必要だと思う。その財源が馬毛島ではないか。	畑かん等の施設、ダムの建設には多額の経費を要するため難しい。コイン給水器等で対応していきたい。
42	農林水産課	漁業をやっているが、以前あった県外輸送への補助が無くなって負担となっている。離島漁業再生支援事業は平成26年度で終了する。ぜひ継続するよう働きかけてほしい。	輸送コストへの補助について協議し、また離島漁業再生支援事業についてはぜひ継続するように働きかけたい。他港経費の補助は、組合側と連携をとりながら要望していく。
43	農林水産課	馬毛島でのナガラメ調査が行われた。水質調査も行ってほしい。	平成26年度に調査予定としている。
44	農林水産課	鳥獣被害が拡大し、農家は危機的状況だ。平山は壊滅的状況だ。対応が手ぬるいのではないか。議員は何を考えているのか。頭数を減らさないと、本格的な対策にならない。又、狩猟期間の拡大もしてほしい。中種子、南種子にも広がっているの、1市2町で対策を講じることが大事だ。	平成25年度目標を有害捕獲500頭、狩猟で140頭としている。中種子町と合わせて計900頭で実施する。
45	農林水産課	罾の免許を持つ人を増やす事と、罾にかかったシカの処分について聞きたい。	狩猟期間は鳥獣保護法で定められており、11/15～3/15。有害については1回(60日)で市町村の判断で出せる。処分については、猟友会だけが許可されていることから、連携を図っていきたい。
46	農林水産課	鳥獣被害アンケートの集約、結果の報告がない。	市政の窓8月号で掲載しており、各種総会の中でも紹介している。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
47	農林水産課	シカ対策を効果的にしてほしい。	罨免許の取得への補助と、年間700頭の捕獲を目標にして頭数を減らす計画である。
48	農林水産課	シカが網にかかった時はどうするのか。	猟友会及び農林水産課に連絡をしてほしい。
49	農林水産課	シカの被害の実態を見てほしい。	シカの被害が発生した場合は、農林水産課まで連絡してほしい。
50	農林水産課	昨年に8反の畑地に電気柵を設置した。来年にも他の場所で設置したいので、補助を継続してほしい。	10月までに電気柵設置について取りまとめる予定としている。
51	農林水産課	シカ対策について、交付金や金網の無償提供とか聞くが、十分な説明が届いていない。	事業の説明は様々な会合で紹介をしてきている。また、事業要望については、市政の窓にも掲載しているが、分かりやすい広報の工夫が必要であり、議会としても調査検討する。
52	農林水産課	シカの被害について、行政には言いにくい。罨免許を取得した。通年での有害駆除を要望したい。	担当委員会として武雄市へ視察し対策強化を検討中。また、西之表市の被害9千万円との推定額よりはもっと被害は大きい。より厳しい対策が必要と考える。
53	農林水産課	鳥獣対策については、ネットの効果があると思うので、補助率を上げてほしい。	中種子町は支柱の補助もしているが、市では検討していないとの事。頭数を短期間で減らす対策を要求している。
54	農林水産課	鳥獣被害対策は、猟期を延長して欲しい。短期間に多頭数を捕獲しないと減らせない。	500頭が捕獲された。狩猟期間は鳥獣保護法で11/15～3/15までで、猟期は市で決められることから、周年の捕獲が可能となるよう要望していきたい。
55	農林水産課	鳥獣被害対策で、古田・安城は、モデル地区になっている。補助事業なので、ぜひ多くの人に参加して実りあるものにしたい。協力をお願いします。	研修会等も開催している。さらに情報交換もしながら広く呼びかけたい。
56	農林水産課	鳥獣被害対策は、狩猟期間の延長をして、頭数を減らしてほしい。	54に同じ

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
57	農林水産課	農道の凸凹道でけがをした。早めの対策をしてほしい。	聞き取り調査をし、現地確認、調査検討をしていく。
58	農林水産課	毎年、梅雨の時期に農道の被害が出る。被害前に予防対策をして欲しい。	現地確認をし検討をしたい。
59	農林水産課	安納芋の輸送費補助となっているが、レザーリーフファンを栽培しており、その他のものへの補助はないのか。	安納芋推進協議会に加入している276戸が対象となっているが、選定できる品目も限りがあり、その他の作物への補助についての要望は検討する。
60	農林水産課	娘が農業をしており、レザーリーフファンを栽培し始めて、ようやく利益が出始めてきた。施設補助、就労支援を受けてようやくここまで来た。農業は資材や設備費の負担が大きく、新規就農が難しい。しっかり補助を行ってほしい。	新規就農事業として、就農1年目を対象に機械・設備の導入への市の単独補助も行っている。
61	農林水産課	安納芋は優遇されている。伊関地区は早くに基盤整備され水施設ができていますが、スプリンクラー器具類が古く、特に高齢者には大きな負担となっている。新しい機具類の補助を検討してもらいたい。	スプリンクラー更新は、土地改良区で検討する。
62	農林水産課	農地水の担当だがひも付き交付金は使いにくい。交付金について十分な説明が欲しいのと自由度を高めてほしい。	国庫補助事業であることから、年に3回活動組織の役員に対して、事業の進捗状況、予算の執行状況等について、個別指導をしている。
63	農林水産課	お茶農家への輸送補助をして欲しい。	国の輸送費補助は、農産物以外も対象であり、品目選定が大変難しい。また、選定できる品目も限りがあるので慎重に検討していきたい。
64	農林水産課	林業の振興については、海上輸送運賃補助をして欲しい。年間8千万円～1億円のチップを航路で輸送している運賃に1,200万円～1,500万円かかる。	平成26年度より原木について海上輸送費を助成する方向で検討中。
65	健康保険課	“温泉に行こう”は喜んでる人もいるが参加者の確保に苦慮している。1回に3人～4人の参加である。無駄ではないか。老人会の予算に回して欲しい	平成24年度は延べ1,444人参加し、増加しつつある。突発的なキャンセルで少ない場合もあった。介護予防普及啓発事業の一環として、広報啓発の方法を含め検討していきたい。
66	福祉事務所	単身赴任の教師らが日曜日に子どもの預かり先を探しているが見つからない。他市では日曜日に子どもを預かるとも聞く。Iターンなどニーズが増えているので、対応してもらいたい。	県内19市中実施している市が11市、中種子町・南種子町は実施なし。以前に実施する体制を整えたが応募がなかった。今後、どれくらいの需要があるのか把握に努めたい。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
67	福祉事務所	児童虐待の事例はないのか。	身体的虐待の事例は報告されていない。気になる事案については、市民相談室や児童支援担当者によるケース検討会議を開催する体制を整備している。
68	福祉事務所	子育て中の同僚がいるが、子どもが病気した際には大変。病児対応の保育園があるのか。	若宮保育園が地域子育て支援センターとなっている。どれくらいの需要があるのか、子ども・子育て支援計画を策定するためのニーズ調査の中で把握に努めたい。
69	福祉事務所	古田へき地保育園の入所基準についての改善をして欲しい。現在、他地域からの入所が出来ない状況だが、地域の活性化や少子化、若者定住対策のためにも、入所基準を緩和して、以前のように、古田校区に仕事に来る保護者や、地元出身者も入所できるようにしてほしい。	へき地保育所への入所は、市の要綱、国の補助基準により入所できる児童が決められている。実施は難しいが、次年度より満2歳からの受け入れを検討している。
70	福祉事務所	生活保護者数は。生活保護世帯が市営住宅に住み、昼間からビールを飲み働かないとも聞く。判断基準が甘いのではないか。	生活保護を受けた場合、守るべき義務も各種ある。近隣住民から非難等を受けるような行動とみなされる場合、日常生活指導を行う。改善されない場合は義務違反と判断し、保護の変更、停止または廃止することができるようになっている。
71	福祉事務所	生活保護の捕捉率は、全国平均30%に対し、西之表市は7.28%と低いと思うが。	諸関係機関と連携を図り、生活に困っている人々の実態把握と窮迫状態の実態確認を行い、保護の実施窓口につながるような体制づくりに努めたい。
72	福祉事務所	50代、60代の方が生活保護受給者である実態にもっと厳しくして欲しい。	健康問題を理由に求職活動ができない申し出があった場合は、担当ケースワーカーが病状調査を行い、就労の可能性及び程度について調査した上で就労指導を実施している。
73	教育委員会	特認校制度については、大字の小規模校から大規模校に通学したい、という対策もあっていいと考えるがどうか。	教育委員会として考えていない。
74	教育委員会	山村留学の現状は。	市山村留学推進協議会（榕城小・下西小・種子島中・中割を除く）を9校区で立ち上げ、里親確保に向けて協議中である。
75	教育委員会	少子化時代の中で、小学校の統合も議論する時期に来ているのではないかと考えるが、どの様な状況か。	現在のところ、統廃合については考えていない。小規模校の児童を増やす努力をしているところである。しかし、今後の児童数の推移を見ながら小学校のあり方について、今後考えなければならぬ時期がくるのではないかと考えている。



番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
76	教育委員会	古田獅子舞100周年記念行事への補助ありがとうございます。多くの皆さんの参加をお願いします。	防災無線やお知らせ版等で広報していく。
77	教育委員会	市内小学校の運動会の日程は重ならないようにしてほしい。	今年は、種子島中学校が9月16日、榕城小、下西小学校が9月29日、その他の小学校は、9月22日に実施済みである。今年の状態を踏まえ、次年度も検討する。
78	教育委員会	各地域の市・県指定文化財への補助金を出してもらいたい。また受け取った団体は積極的に市民へ披露すべきと考えるが。	陳情の採択を受け、現在検討中である。新年度で増額を検討中である。
79	教育委員会	下西小学校の壁が汚く、また倉庫が古くシロアリで壊れかけている。	市全体の小・中学校の施設の整備状況を見て、優先順位をつけ、補修、改修について取り組みたい。
80	教育委員会	教員住宅が空いたままとなっているが、空き家が無く居住したいという人たちがいる。教員用に限定しているが、入る見込みがないと思われるので、貸出してほしい。	かつて、小学校の教員住宅に居住していた市民の方に、退去してもらった経緯がある。今後は、教職員に対し、校区内居住をしてもらうよう指導し、教員住宅が無駄にならないようにしたい。また、空き状況を見ながら検討していく。
81	教育委員会	スクールバスの使用について、朝夕を除いた時間に運動会やその他合同練習などでも去年までは利用できたが、現在は児童らが利用できないようになっている。	全ルート対応する。帰りは、校区で責任を持ってほしい。区長又は保護者が校長に申し出ただければ。
82	行政経営課	ガソリンの価格制度について。10180円を超せば、生活を変えないといけない。	ガソリンについては、010円の離島補助がある。小売店の価格については、系列の違いなどがあり難しい。バンカーサーチャージについては、揮発油税の減免など、何らかの補助を国に要請する。
83	財産監理課	地籍調査はどこまで進んでいるか。	平成28年度までは、細かく計画しているが、職員3名、補助員4名体制であり、現状では計画通りにいっていない。平成29年度より新たな計画を策定する予定である。公共事業があるところが優先。古田校区は、営林署所有が多い。
84	財産監理課	地籍調査を進めて欲しい。高齢化が進み、調査がますます困難になる。今のようなペースでは遅い。	
85	財産監理課	メガソーラー発電のための敷地整備が進んでいる模様だが、その土地周辺の土地所有者に対して管理道路を作る計画があるのだろうか。市の土地利用の際には、その周辺の土地所有者に対して十分な配慮の上、計画についての事前説明を行ってほしい。	9月20日に地権者に対し、説明を終えた。

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
86	総務課	市の財政が厳しい状況の中、色んな形で経費の削減を行っており、市役所の職員減が続いている。減らした分アウトソーシングにより外部に出して、安い賃金で雇えば良いのではと思っているのではないかと。また、給食センターのパートは、8月は仕事がなく収入がないため飲食店でアルバイトをしている方もいる。賃金を見れば市役所より民間の方が高いと聞く。このように低賃金の人を増やしている。このような状況を議員としてどう捉えているか。	臨時職員については、平成24年度より賃金の見直しを行い、毎年昇給もあるように改定した。給食センターのパートについては、今年度は8月の後半約10日間ぐらい出てもらった。今後は、現業において、正規職員の雇用はしない。類似団体の状況なども比較し、検討していきたい。
87	総務課	障害者雇用促進法が制定されているものの、西之表市はいまだ知的・精神障害者の雇用は行っていない。どのように議会は考えているのか。	知的及び精神障害者雇用法は成立しているが、施行については、平成27年度よりと認識している。この2年中種子町の養護学校の生徒を職場実習の形で市役所で研修をしている。業務内容を検討する。
88	総務課	読売新聞に「福岡の山本さん」が飲酒運転撲滅ための学習会を開催したことが紹介されていた。西之表市も飲酒運転撲滅について条例化してほしい。	今後は、取り組みの強化や啓発の一つとして、条例の制定も視野に検討していく。
89	総務課	柳原地区には防火水槽が1カ所しかなく、また水道管も小さい。早急に最低でも2ヶ所の防火水槽設置を要望する。	柳原の防火水槽については、1ヶ所はつくらないといけないと思っている。本市は、防火水槽、消火栓の充足率が67%であり、充足率の低いところから優先的に進めていく。
90	総務課	防災対策については、防災マップは配布されたが、避難誘導等、集落民への説明の方法等、提案して欲しい。	防災マップについて、各集落に説明している。庄司浦より要望がある。また、11月に洲之崎、西町、東町が津波の避難訓練を予定している。今後は、計画を立て、区長や集落長と協力をしながら、説明していきたい。
91	総務課	過疎化が進む中、独居老人が亡くなった後の住宅がそのまま放置されている。対応を市長に要望したところ、「個人財産」だからと回答されて残念に思う。	現行の法制度では対応できないが、国の改正の動きもあり、危険家屋について議論したい。
92	地域支援課	若者定住促進支援について、安納校区では小学生2名がいる家族が建て替えを今年に計画しているが、対象年齢が45歳以下のため支援対象から外れている。支援を受けられるようにしてほしい。	若者定住促進事業については、平成24年度から平成26年度の3年間を予定しており、45歳以下が対象。他市においては、40歳、35歳以下というところもあることやすでに継続中の事業であり、これまで対象にならなかった方との公平性を考えたとき、平成26年度までは45歳以下で進める。平成27年度からは、議論を踏まえ検討したい。
93	地域支援課	豊かで活力ある地域づくりをモットーに活性化に努めてきた。現和物産館について議会ではどのようにとらえているのか。出品者数も30人から100人へ、会員も386人になっている。種子島を一つにした大規模イベントを開催してほしい。	現和物産館については、3年間の補助をする。現在、地域おこし協力隊の協力を得ながらホームページを作成し、情報発信を行うなどの実証実験を行っている。10月か11月には、今後の方向性を出していきたい。

平成25年10月24日

番号	関係課	参加者からいただいたご質問・ご意見	回 答 (各担当課からのヒアリング結果・常任委員会からの要請事項)
94	地域支援課	婚活にもっと力を入れてほしい。他地域の取り組みを見るよりも、もっと地元で根差した工夫をしてもらいたい。	中種子町などの状況も参考に外部に委託したり、高速船の補助などをして、島外から人を呼ぶなどを検討している。
95	地域支援課	地域活性化交付金は来年度も継続されるのか。	継続する方向だが、内容が変更される可能性がある。税金を使っているの、有効な事業としたい。市民の意見も聞きたいと考えている。
96	地域支援課	生姜山事業はありがたいが、不安もある。	県の過疎地域支援事業に採択された3年間の事業であり、NPO法人天文館研究所というところから、経理など運営の助言を受けている。金額の補助はない。市としては、平成26年度の補助は行わない予定である。
97	地域支援課	高齢化で校区に、役員のみ手がいらない。集会のときの移動手段もないことなどから、市の行事にも出られない。	市としては、地域支援員を2名から4名に増やす。南種子町の例では、各校区の区長事務所に1名の地域支援員を配置している。
98	地域支援課	生姜山の事業については、高齢化が進んでいて、今後の運営に不安がある。経理の応援を行政にお願いしたい。アドバイスがほしい。	
99	地域支援課	集落合併を検討する時期に来ているのではないかと。全国の事例があれば紹介して欲しい。	集落や校区から要望があれば検討していく。
100	地域支援課	校区ごとに、郷土料理や技術を継承する“人材バンク”を設立し、市をアピールする取組を進めたらどうか。校区ごとの特産品作りを提案したい。	地域支援課だけでできるのか、市全体で検討したい。
101	地域支援課	若者定住、過疎化について、議会はどう捉えているのか。	議会も重要な課題と認識して取り組みたい。
102	地域支援課	若者定住のための、働く場所の確保や後継者育成について真剣に考えてほしい。	